

ねん ど だ い かい しずおか し がいこくじんじゅうみんこん わ かいかい ぎろく
2012年度 第5回 静岡市外国人住民懇話会会議録

1 日時 平成24年6月22日（金） 19:00～20:30

2 場所 静岡市クリエイター支援センター1階 第2会議室

3 出席者 外国人住民懇話会委員10名

アウン タウン ウー、王川 絹子、
上地 セシリア 恵美子、コルベイ ステイブ、
宋 在英、蔣 信愛、樋熊 アメリア、関 俊哲、
藤井 明、マハラジャン ディリブ

事務局 5名、静岡市国際交流協会 1名

4 次第

- (1) 開会
- (2) 市民生活課職員紹介
- (3) 市政施設見学「ぐるり☆しずおか探訪」について 広報課
- (4) 外国人住民に係る住民基本台帳制度について 区政課
- (5) 意見交換
- (6) 事務連絡
- (7) 閉会

5 会議内容

コルベイ会長

今までの提案に基づいて意見をまとめたいと思いますので、ご質問、コメントがありましたら自由に発言してください。今回と次回で提言書の意見をまとめることになるので、意見がありましたらお願いします。

ディリブ委員

外国人登録窓口がなくなるということで、今後大きな問題が出てくる可能性があると思います。例えばゴミの出し方の問題。この間磐田へ行った時、そういうことを説明してい

ると聞きました。静岡市でも今、外国人登録証明書を作りに来た時に、ちょっとしたパンフレットを見かけたりしますが、今後それがなくなってしまうたら、外国人は国際交流協会へ行って案内をうけるのか、引き続き市で説明をしてくれるのか少し疑問です。

スミス CIR

最近、各区役所の外国人登録窓口でそれについて聞いてみましたが、具体的にはまだ決まっています。でも資料は、今の場所に必ず置いて、市に来た新しい外国人には「資料があるので持って行ってください。」というようなお知らせは、継続していくそうです。それ以外は、これからどうなるかはまだわからないそうです。もう少し具体的な情報があれば、次回お知らせします。

会長

確かにそれは大きな問題だと思いますし、特にゴミ収集の問題は一番の問題だと思います。やはり窓口がないと問題は増えると思いますね。各区役所へ窓口の維持の要求も可能ですよね。私は、「現在、静岡市民が多文化共生について、どのような意識や考えを抱いているかの調査」についてお聞きしたいのですが、静岡に来る前、京都に住んでいた時、そのような調査がありました。20～30分時間をとって詳しく記入する調査だったのですが、残念ながら、ただ記入して返送してしまい、具体的な反応が何もなかった。調査はいい提案だと思いますが、それをどのような形で伝えたらいいのかわからないので、この調査を提案として出すならば、結果報告を含めて考えてみてほしいと思います。

関委員

今まで行われた懇話会の中で、この3種類のキーワードは出てこなかったのか、あるいは今までまとめた提案の中で、この3つの内容が含まれていたのかどうか知りたいですね。同じことを2、3回やっても意味がないし、提案書を何度も見ましたが、実際の提案というのは、実行されなければ今までやってきたことが水の泡になる。機会を増やしていくという言葉で終わらせてしまうと、何のために時間を費やしてやってきたのかと思ってしまうので、1つのテーマに絞ってもっと深く考えるべきだと思います。最終的な目標は、市長に見ていただいて、それを採用されるようにしないといけないと思います。ただ機会を増やす、回数を増やすだけだと、正直30分あれば誰でもまとめられますからね。

事務局

これは参考書に書いただけですので、これをもっと膨らめていってほしいです。

関委員

提案書は、だいたいこれぐらいのことですね。何のための提案なのかなど。正直、参加

したくないなど感じたこともあります。ですから、この3つのキーワードが、今までの提案の中でどのくらい出たのか、何回繰り返し返されたのか。既に提案されているなら、もう提案しなくていいのではないかと。キーワードを1つに絞って、外国人に対してどういう方法で目的を達成できるのかを議論した方がいいと思いますね。ですから、来ていただいた以上みなさんに発言してほしい、自分の本当の気持ちを言っしてほしいですね。

宋委員

私も最初から疑問に思っていて、提案だけではなく1つの課題を持って、みなさんの意見で実現できるものを詳しく取り上げてほしかったのですが、やり方はずっと提案、提案、提案…それらの繰り返しだけで、まとめができていないと思います。

会長

今のところ批判が続いていますが、解決方法は何なのか、どのように解決していくのか。批判だけならそれこそ意味がないですから。先ほど関さんが、それは良くないとおっしゃっていたのですが、それならどういう風にしたらいいのか、1つのテーマに絞るにしても、どのテーマに絞るべきなのか、関さんならどのテーマに絞りたいですか。

関委員

この3つの中なら、個人的には子育てがいいと思います。

宋委員

みなさんに意見を聞いて、1つの課題について議論した方が…。

会長

それならば投票してもいいですよ。1つのテーマに絞った方がいい方は手を挙げてください。みなさんの同意がありましたので、3つの中から一番重要と思うものを1つ選びましょう。

挙手 防災5名

挙手 子育て…

会長

あれ、1人1回じゃないのですか。

王川委員

2つでもいいじゃないかな。

副会長

今まで3つとも話をしてきたものですから、みんな必要だと思っていると思うのですよね。だからこれらのテーマが出てきたと思うので。

会長

そうなのですが、先ほど関さんが3つだと良くないとおっしゃっていたので。

王川委員

タイトルだけではなく、もっと具体的な内容を充実させて実現させるようにすればいいと思います。

会長

私は関さんと宋さんが、時間がないから絞る、テーマがいっぱいありすぎて良くないとおっしゃっていたから、最初に投票してテーマを絞りたかったのに、結局3つとも同意したら意味ないですよ。

関委員

この3つのテーマが、いままで15回懇話会の中で、なかったはずがないと思います。

事務局

合併前までのデータは持っていないのですが、合併後、今回で3期目ぐらいになります。そのなかでこの3つのテーマで深く掘り下げたことは一度もないです。

関委員

そうですか。それならば優先順位をつけてやればいいんじゃないかな。

会長

優先順位をつけましょう。一番優先すべきテーマが防災だと思う方は手を挙げてください。

挙手 防災6名

ウー委員

話の途中ですが、優先順位をつけると言っていますが、どれも外国人にとっては大切だと思うのですね。ですから、3つの中から1つを絞るのではなくて、もっと具体的な提案を、

いまはまだ具体的なになっていないので、過去のも具体的な問題が書かれていないですね。どういう問題があって、どういう解決策があるのか。

かいちょう
会長

その具体性は、事務局がおっしゃったように、これからやるべきことなので。あと3回ありますので、これらの3つのキーワードについて考えながら、具体的な提案を出していけたらいいなど。ですから、これからは新しい提案やテーマは出さずに、今日は防災についての具体的な話をしましょう。意見がありましたらぜひ…

びんいん
関委員

みんなが意見を発言できるように、防災について宿題にしてみてもいいかもしれませんね。

かいちょう
会長

そうですね、メールでもいいですね。例えば防災について提案があった場合は、それを書いてメールで送ればそのまま使えるから、非常に時間の節約になりますね。市役所の方に最初に送って、そのあと私が見なさんに転送します。今までの防災、子育ての具体的な提案、どうしても市長にお願いしたいことがある方はお願いします。

ふくかいちょう
副会長

防災に関してなのですが、この間翻訳をしていた時、関西をはじめ大きな街のコンビニに帰宅支援のシールが貼られていて、災害時にそこで必要なサービスが受けられるらしいのですが、ただ静岡にはありません。去年もずっと翻訳していたけど気がつかなくて、最近ないということに気づきました。だからそういうシールを設置するのはどうかなと思います。

かいちょう
会長

それは外国人向けですか、それともみんな向けですか。

ふくかいちょう
副会長

みんなのためです。

かいちょう
会長

多言語で書いてありますか。

ふくかいちょう
副会長

日本語ですが、絵が入っています。ハートのような絵なので、それを見ればわかるようになっている。

関委員

被災した時そこにいてもいいという印という意味ですか。

副会長

仕事場から帰るときに、そこに寄ってお水を飲むとか、そういうことができるシステムですよ。

関委員

避難地ですか。

スミス CIR

避難地ではなく、提供をする場所。トイレを使えたり、水を配布したり、そのようなサービスなのですが、最近まで静岡県内でやっていなかったと知りませんでした。静岡県でもやっているというような情報を流してきましたが、現在は、首都圏、愛知県そして関西でやっていますが、静岡ではやっていません。

王川委員

防災は、静岡地区ではとても大事な課題だと思えますね。外国人がどのように防災について意識するか、どのように準備するか、特にネットワークが一番大事だと思えます。日本人は自治会とかありますが、外国人はバラバラですので、ネットワークを作ることが大事なかなと思えます。例えば、中国人は日中友好協会、フィリピン人はNAKAMAというネットワークがありますが、他の国の人たちはどのようにしてネットワークを作るかを真剣に考えた方がいいかなと思えますね。ネットワークがあれば、何かあった時に連絡を取り合ったり、助け合ったりできますし、普段の情報交換も同じ言語なので伝えやすいのではないかと。国際交流協会として、あるいは外国人登録窓口としてネットワークを作れたらいいのかなと思えます。

会長

具体的にどうしたらいいでしょうか。例えば、国でのネットワークなのか、あるいは同じ言語でのネットワークなのか。

王川委員

国とかではなく、例えば大学なら静岡大学で1つのネットワークというような形で。た

だ、そういったところに属^{ぞく}していない人^{ひと}たちに、繋^{つな}がるようなネットワークが作^{つく}れたらいいなど。

樋熊委員

行^いってきました、防災訓練^{ぼうさいくんれん}。子供^{こども}から大人^{おとな}まで自分^{じぶん}たちの言語^{げんご}で経験^{けいけん}してきました。フィリピン^{じん}だけではなくて、ほかの国^{くに}の人^{ひと}も参加^{さんか}していましたが、通訳^{つうやく}ができる人^{ひと}もいたので、みんな楽^{たの}しくいろいろな経験^{けいけん}ができました。ぜひみなさんも行^いきましょう。

王川委員

なかなかつながりをつくるのは難^{むずか}しいので、ネットワークを作りやすい何^{なに}かを。中国^{ちゅうごく}は日中友好協会^{にっちゅうゆうこうきょうかい}としてネットワークを作^{つく}っている。ですから、他の国^{ほかのくに}はどのような風^{ふう}につながったらいのかなど。

副会長

ネットワークというのは、地震^{じしん}後^ごだったらすごくいいと思^{おも}うけれど、地震^{じしん}が起^おこっている時^{とき}一番^{いちばん}頼^{たよ}りになるのはご近所^{きんじよ}さんだと思^{おも}う。何か^{なに}起^おきて確認^{かくにん}してくれるのは近所^{きんじよ}の人^{ひと}なので、どちらかという自治会^{じちかい}の方^{かた}を…。

王川委員

そうですね、自治会^{じちかい}を通^{とお}してネットワークを作^{つく}った方^{ほう}がいいですね。

会長

具体的^{ぐたいてき}なことを自治会^{じちかい}に伝^{つた}えて、近く^{ちか}に住^すむ外国人^{がいこくじん}に積極^{せっきよく}的に声^{こえ}かけてくださいとか、もし言葉^{ことば}の問題^{もんだい}があるなら、市役所^{しやくしょ}の方^{かた}にお願^{ねが}いしてもいいので、自治会^{じちかい}と市役所^{しやくしょ}のつながりを…。依頼^{いらい}しやすいし、解決^{かいげつ}できるかもしれないですよ。

副会長

協^{きょう}力^{りよく}してくれる自治会^{じちかい}会長^{ちやう}もたくさんいると思^{おも}うのでね。

会長

防災^{ぼうさい}のことを考^{かんが}えると、自治会^{じちかい}と外国人^{がいこくじん}の関^{かん}係^{けい}が深^{ふか}まりそうですよね。

副会長

磐田市^{いわたし}では、1人^りブラジル人^{じん}のボランティアの人^{ひと}がいて、自分^{じぶん}が住^すんでいる場所^{ばしょ}など関係^{かんけい}なく磐田市^{いわたし}全体の通訳^{つうやく}をしたり、イベント^{いべんと}の呼^よびかけをしたりしてくれる方^{かた}がいました。そのような方^{かた}がいれば、各地区^{かくちく}に住^すむ外国人^{がいこくじん}も行^いきやすいと思^{おも}います。

かいちょう
会長

地震があつてパニック状態になつてしまい、どうしたらいいのかわからない時、例えば、自分が葵区に住んでいると、駿河区に住むフィリピン人とはあまり会う機会がないから。

ひくまいいん
樋熊委員

私がこのことを言つて、その人たちが、自分のことは自分で守る。ネットワークを作つても、そこに行くまでに間に合わなかったらどうなるの。結局は自分で家族や自分のことを守らないといけない、ネットワークは助けてくれないから、やはり自分で実際に体験する必要があります。

かいちょう
会長

防災以外でも、近所の人との交流は日常生活にも影響を与えるので、理解し合えばもっといろいろな効果があると思いますね。

スミス CIR

質問なのですが、委員たちの中に Facebook や Twitter をやっている方はいらっしゃいますか。去年の東日本大震災の時にはこのような手段で情報等流れていましたので、利用してもいいのかなと個人的に考えています。

かいちょう
会長

蔣委員は何かありますか。

ちやんいいん
蔣委員

今週になつて感じたことなのですが、6月になると台風が多いので、そういう時期に防災訓練等をもっと強化するような心がけが必要だと感じました。また、放送が流れるのですが、全然聞こえない。それならば市役所の方が車とかで回つて注意を呼びかけるとか、川の近くは危ないということを近くで注意するとかそういう風にしたらいいいのではないかなと思ひました。

かいちょう
会長

確かに、私も防災のことを考えるときに、その放送を含めいろいろな問題がありますね。私の家は、たまたまスピーカーの近くにあるので普通に聞こえますが、聞こえない人もいますし、日本語が全く分からない外国人は不安になりますよね。時々問題がないのに放送があるので、今心配しなければならないことなのか、もう大丈夫なことなのかかわからない。理想は多言語での放送だけど、言葉以外で伝えられる他の方法（音楽を流すとか）があつ

あなたが、全く日本語がわからない外国人にとっては、ただ不安になるだけですよね。また、台風と関係ない時でも放送ありますよね、でも地震があったかとも思ってしまうかもしれないので、放送と外国人は非常に大きな問題だと思いますね。

ウー委員

今、日本語学校が市内に3つありまして、市の方では日本語学校に防災訓練を学生たちに実施するように指導していますか。

事務局

ちょうどタイムリーなお話で、最近、3つの日本語学校に行ってきました。先ほどお話ししたように、今年度から多文化共生が一つの係としてできました。多文化共生施策として、日本語学校がどのような考えを持っているのか、どのような部分を行政に望んでいるのかを知るため、3つの学校に行ってきました。各学校2時間前後の深い話をした中で、やはりみなさんの持つ最大の関心は防災でした。それぞれ授業の中でも防災のことをやっているのですが、できれば市の中で防災についての出前講座をやってほしいとか、専門的に教えてほしいという意見が、3つの学校ともありました。先ほど放送の問題が出ましたが、去年静岡県議の会議でも放送の問題が大きな問題になりました。袋井市では日本語とポルトガル語で放送しているそうです。県では、そのような多言語での放送を静岡市でもやったらどうかという案が出たのですが、ご存じのとおり、静岡市には75ヶ国の外国人の方がいます。日本語だけでも伝わりにくく中で、いくつも放送するとかえって紛らわしくなってしまうということで今静岡市では、日本語だけで放送しています。ただ、この放送もできるだけわかりやすい日本語でやろうと検討しているそうです。やはり多言語で放送することは難しいようですが、工夫はしているようです。

会長

例えば1つの色、赤なら危ない、緑なら安全とか、もしくは数字、1から5まで使って表現する。1から5までなら聞き取れるから。そのあと日本人のためにも詳しい放送してもいいのですが、色だけ、数字だけというようにしたら、わかりやすいのではないかなと思います。

ウー委員

今、外国人を分けると、社会人と留学生が多い。社会人は、日本に長いし、いろいろな経験もしている、知識もあるし、日本人との交流が多いです。それに比べて留学生は1日の生活が学校とアルバイトで家にいる時間がほとんどないですね。周りの人との交流はあまりできないので、学校とアルバイト先で防災の話とか訓練をやってもらった方がいいかなと思いますね。

会長

提案として考えると、市から義務付けのようなものにするとか。

ウー委員

そうですね、市の方がちゃんと指導して。職場やアルバイト先は海が非常に近いところにあったりしますので。初めて来た人たちは全然わからないし、地震や津波の怖さもわからないので、あまり意識しようとししないですよね。地震の話をするのと笑っている人もいます。だから、どれだけ地震や津波が怖いのかということ、学校や職場で教わるのがいいと思います。

事務局

今ウー委員がおっしゃったように、大きく分けて社会人と留学生の方がいます。私どもが考えたのが、留学生で特に日本語学校に入ってくる方というのは、日本に初めて来たり、全く日本の状況を知らない。できれば最初の段階で、防災や国保がわかってもらえればと思いますが、現実問題として、授業とアルバイトで時間が非常に厳しい。なかなか時間がとれないということで、できれば市の方でまとめて防災や国保について何かできたらと思っていたのですが、難しいようでした。またもう一つは言葉の問題ですね。来たばかりでするので、なかなか日本語もできないため、日本語で対応するのも難しい、各母語で対応するのもなかなか難しいようなので、例えば3ヶ月程経って少し日本語がわかるようになってから、防災なら防災、国保なら国保についての講座をやってほしいという意見がありました。

関委員

防災は非常に重要ですね。先ほどおっしゃった通り、だいたい日本に2年以上住んでいる人たちは防災訓練に参加している経験もあるし、防災訓練に2、3回参加したら、それ以上は参加しないと思います。私自身が思っていることは、防災訓練は言葉の問題とかいっぱいありますけど、市役所とかで東日本大震災のビデオ、中国の震災のビデオを作って、日本語でも英語でもちゃんとビデオを見て、普段の危機意識を高める教育が一番重要だと思います。ただ言葉で地震は怖いですと言っても、彼らはただ笑いながらいるだけなので、やはりビデオとかを見せて、視覚、聴覚を使った教育をした方がいいと思います。地震が来る前、教育を受けているかどうか、地震が起こった時何をすればいいか、地震後に何をしたらいいのかというような具体的な手法を教えてあげた方がいいかもしれませんね。例えば市役所で、葬区だったら葬区だけの外国人を全部集めるのは難しいですけど、日本語学校だったら日本語学校に市役所の人間を派遣するといったようなスタイルをとったら、小さいところからでも始めていったら広がるのではないかなと思います。実際起こったら、ネ

ネットワークとか何も意味ないと思いますから。

ディリブ委員

先ほど市役所の方が話していたのですが、アルバイトなどで時間をつくるのが難しいということでしたが、更に行政から講習をやると、もっと人が集まらないと思いますので、学校に行政を派遣した方がいい。1つの授業を削ってでも、市から強制的に怖さをビデオなど使って実践的に働きかけないと、仕事、仕事と言って人が集まらないことが結構多いですよ。私もネパールの団体を持っているのですが、みんな行きます、行きますと言うだけで結局は来ないですね。留学生は勉強が目的で来ているので、アルバイトも大事ですが、ちゃんとそういうものも受けなければいけないと思わせるような教育をしたり、または市が学校に働きかけたりすることも大事かなと思います。そうすればみんな参加すると思うのですが。先ほどの話にも出たように、もし県や市で講習をやったら、逆に集まらなくなってしまうかもしれないので、授業中にやるのが一番良いと思うのです。

副会長

そうですね、小学校や中学校、高校では授業の中にありますからね。そっちの方が参加できると思うし。

SAME石黒

今日の中で、地震が起きた時に家に帰れなくなる、バスや電車等交通機関が止まって帰れなくなる人を、ガソリンスタンドやレストランといった全国規模で展開している店舗でサポートしようという動きがありまして、それを簡単な日本語で説明してあるのがこちらの紙です。どのようなサポートをしてくれるかというところ、お水をくれたり、トイレを使わせてくれたりということがあります。それが実は日本の中の32都道府県、政令市、店舗数約4万店があるのですが、静岡市には支援ステーションがありません。政令指定都市と県が提携してこういったものができるそうです。

会長

残念ながら時間となりましたが、今回は関委員、栄委員のおかげで具体的な提案が出ましたので、改めてまとめますと、支援のシール。これが実現してから外国人に対して宣伝と説明、そしてネットワーク。近所の方と自治会、防災に関係なく日頃の国際交流を兼ねて、近所あるいは自治会とネットワークを作る。防災の時は自分の家族を守らなきゃならないですけど、地震以外の防災、台風や停電のような時に使えるようなネットワークを作ること。もうすぐ外国人登録窓口もなくなりますので、自治会ともっと交流できたらいろいろな情報が得られますよね。あとは放送の問題。簡単な日本語、わかりやすい日本語、多言語、数字や色を使って放送することが重要だと思います。最後に、留学生等のための防災訓練。

時間の問題等もありますが、方法を探してしっかりわかりやすく教えた方がいい、みんなに危機感を持たせるためにビデオ等で情報を伝えた方がいい。これは今まで出てこなかった具体的な提案だと思いますので、提案として出せる意見だと思います。みなさんは今日の会議についてどう思いますか。

関委員

時間が短かったです。次回は子育てについて、お子さんがいらっしゃる方はもちろんですが、自分が結婚して子供を持った場合、どのように子育てしていくか、どのような面で不安を感じるかといったような内容を、会長もしくは市役所の方にメールして、それを会長がまとめて一番重要なものを議論すればいいと思いますね。そうすれば、長い時間議論できますよね。

会長

そうですね、子育てだけでなく防災のことも議論できますからね。子育てと関係ない方もいらっしゃると思うので、防災の提案もありましたら、市役所の方にメールを送ってください。

関委員

みんなここに来て今日やる内容を知るので、それから考えても良いアイデアがすぐに出るわけがないですよ、それが1つの問題ですよ。普段考えて、ここに来た時に何を発言しようかと考えてこないと多分まとまらないと思います。

副会長

期間が空いてしまうので、前回考えたことを忘れちゃうのですよね。

事務局

できれば最初に抱えている問題点を書いてもらって、もしあれば自分が考える解決策等も書いていただければと思います。

会長

今日は、ありがとうございました。